

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 7月 4日 更新

事務事業名	ごみ収集事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康	所属部	市民生活部	課長名	上村 祐一郎
	施策	21	廃棄物の抑制とリサイクルの推進	所属課	環境衛生課	担当者名	小野 幸介
	施策の柱	62	ごみの発生抑制とリサイクルの推進	所属班	環境衛生班	(内線)	1144
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 合志市廃棄物の処理及び清掃に関する
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	【家庭系一般廃棄物処理】家庭から排出されるごみを収集し、一部事務組合の処理施設で適正に処理する。 具体的な内容：地域住民へごみの分別ルールの周知徹底、ごみに関するトラブルの対応、ごみ収集に必要な業務の民間委託、資源物の持ち去り行為に対する取締り、電動式生ごみ処理機の貸し出し等 【事業系一般廃棄物処理】事業所から出る一般廃棄物について、処理の方法等の周知・指導等を行う。 具体的な内容：各事業所から排出される一般廃棄物の量を管理し、適時ごみ減量への助言・指導の実施 【循環型社会実現に向けての取り組み】保育所に対する食育研修の実施
【業務の流れ】	ごみ分別に関する周知冊子等の作成・配布(ごみ収集予定表・ごみの分け方出し方)に関する事務(施行伺・入札・契約・内容校正・納品・支払・配布) 収集運搬業務委託(民間2社)に関する事務(施行伺・見積徴取・契約・業務実施・委託費支払) ごみに関するトラブルの対応、ごみ減量に関する取り組み(生ごみ処理機の貸し出し)受付・貸出・アンケート集計 循環型社会構築のための啓発(保育所等に対する食育研修の実施) 資源物の持ち去り行為に対する取締り(早朝に持ち去りパトロールの実施、行為者に対して直接指導) 事業系一般廃棄物の管理(収集運搬許可業者からの月報による事業所毎のごみ量の把握。随時、事業所に対し分別等についての周知を図る)
【主な予算費目】	報酬、給料、職員手当、報償費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費、公課費
【意見や要望】	・ごみ一時保管所に違反ごみが投棄されるケースがあり、地域から再分別等の対応が大変という声が上がっている。 ・事業所の廃棄物収集運搬許可業者より、事業所の分別が徹底されていないが、仕事を請けている立場上指導が難しいという相談があった。 【災害に関すること】 ・災害廃棄物の収集について、合志市は仮置場への拠点回収方式を採用したが、通常のごみステーションでの回収方式で対応して欲しかったという意見があった。 ・仮置場として利用した土地にグラウンド等も含まれており、普段の利用者からは一時利用できなくなることによる不満の声があった。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
業者選定、見積徴取、業者決定、契約事務、ごみ収集運搬量の照合、支払事務を行った。 廃棄物収集用箱設置、拠点収集所巡回整理、廃食用油の巡回整理を行った。 資源物持ち去り禁止看板を各ごみ収集所に掲示し啓発及び持ち去りパトロールを実施した。 ごみ収集予定表を作成し、市民に分別等の周知を行った。 新栄温泉団地区でごみ分別についての出前講座を実施した。 業務推進協同組合研修センターで外国人実習生へ向けたごみ分別等の出前講座を実施した。 令和4年度ごみ収集量(市収集運搬分)は12,412t、一人一日あたり528gだった。	新環境工場供用開始に伴いR3.4.1からごみの分別方法が変更となり市民に分別方法を周知しているが、違反ごみや分別誤りが発生しているため、引き続き周知を行い、併せてごみの再資源化の推進に繋げる。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア) 支払事務件数	件 人口増加に伴うごみ収集委託料の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
ごみ	ア) ごみの量 t
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
適正に回収する	ア) 適正に回収されたごみの量 t
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠	
排出されたごみを適正に回収することにより、快適で住みやすいまちを実現することに繋がるため、成果指標を「適正に回収されたごみの量」とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	件	64	64	64	64	64	64	64	64	
② 対象指標	t	15,148	15,113	14,458	14,882	14,530	14,602	14,674	14,746	
③ 成果指標	t	15,148	15,113	14,458	14,882	14,530	14,602	14,674	14,746	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	3,700	3,000					
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	62,222	68,239	71,740	67,373	74,909	63,700	64,200
		繰入金	千円							
	一般財源	一般財源	千円	142,918	111,858	119,152	114,790	121,575	151,600	154,900
		(A) 事業費計	千円	208,840	183,097	190,892	182,163	196,484	215,300	219,100
		(A)のうち指定経費	千円	47	28	0	0	81	1,836	1,836
		(A)のうち時間外、特別	千円	47	28	0	0	81	77	77
		人件費	人	6	5	7	6	7	7	7
延べ業務時間	時間	1,680	1,370	1,600	1,444	1,600	1,600	1,600	1,600	
	(B)人件費計	千円	6,624	5,356	6,374	5,495	6,374	6,374	6,374	
トータルコスト(A)+(B)	千円	215,464	188,453	197,266	187,658	202,858	221,674	225,474	229,274	

事務事業名	ごみ収集事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	--------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 令和4年度は、14,882 tのごみを回収した。家庭から出たごみを各地区のごみ一時保管所（ごみステーション）から処理施設へ収集運搬する委託業務、ごみ収集予定表とごみの分け方出し方（冊子）の作成など、市民に対し分別の周知等も行った。また、広報誌で排出された燃やすごみの量を周知しごみ減量のポイントを連載した。市民一人一日当たりのごみの量については、528 gであった。今後も分別と再生資源化を徹底し、さらにリサイクルを進める。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 環境美化推進員によるごみ分別の指導、違反ごみの再分別指導・実践により、ごみが適正に回収できるようになる。 また、適正処理困難物は環境衛生課職員により適正により処理している。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 分別を徹底することにより、さらに資源物リサイクルを進められる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業なし
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 今後も、市の人口増に伴いごみの量も増加する。分別を徹底することにより削減に努める。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 業者選定等の事務やごみ排出に関する苦情もあり、正規職員以外では難しい。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全市民のごみを収集するので公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 廃棄物の処理及び清掃に関する法律等により、一般廃棄物の処理は市が行う事務であり適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

令和4年度は、14,882 tのごみを回収した。家庭から出たごみを各地区のごみ一時保管所（ごみステーション）から処理施設へ収集運搬する委託業務、ごみ収集予定表やごみの出し方分け方（冊子）の作成・配布など、市民に対し分別の周知等も行った。また、広報誌で排出された燃やすごみの量を周知しごみ減量のポイントを連載した。今後も分別と再資源化を徹底し、さらにごみの減量化に努める。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						